nikko am
Nikko Asset Management

新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第５期（決算日　2017年６月20日）第７期（決算日　2017年８月21日）第９期（決算日　2017年10月20日）
第６期（決算日　2017年７月20日）第８期（決算日　2017年９月20日）第10期（決算日　2017年11月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）」は、2017年11月20日に第10期の決算を行ないましたので、第５期から第10期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2017年２月３日から2032年５月20日までです。	
運用方針	主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）	「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ハイインカムＢＤＣマザーファンド	ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。
組入制限	新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ハイインカムＢＤＣマザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第１計算期から第２計算期までは収益分配を行ないません。第３計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

＜643394＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2017年２月３日	10,000	－	－	－	4,013
１期(2017年２月20日)	10,026	－	0.3	69.2	6,269
２期(2017年３月21日)	10,028	－	0.0	92.4	9,234
３期(2017年４月20日)	9,987	45	0.0	92.1	8,616
４期(2017年５月22日)	9,490	45	△4.5	93.8	8,917
５期(2017年６月20日)	9,480	45	0.4	94.1	8,934
６期(2017年７月20日)	9,561	45	1.3	94.8	9,040
７期(2017年８月21日)	9,130	45	△4.0	92.7	7,968
８期(2017年９月20日)	9,046	45	△0.4	95.9	7,860
９期(2017年10月20日)	9,187	45	2.1	94.2	7,979
10期(2017年11月20日)	9,063	45	△0.9	93.9	8,456

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

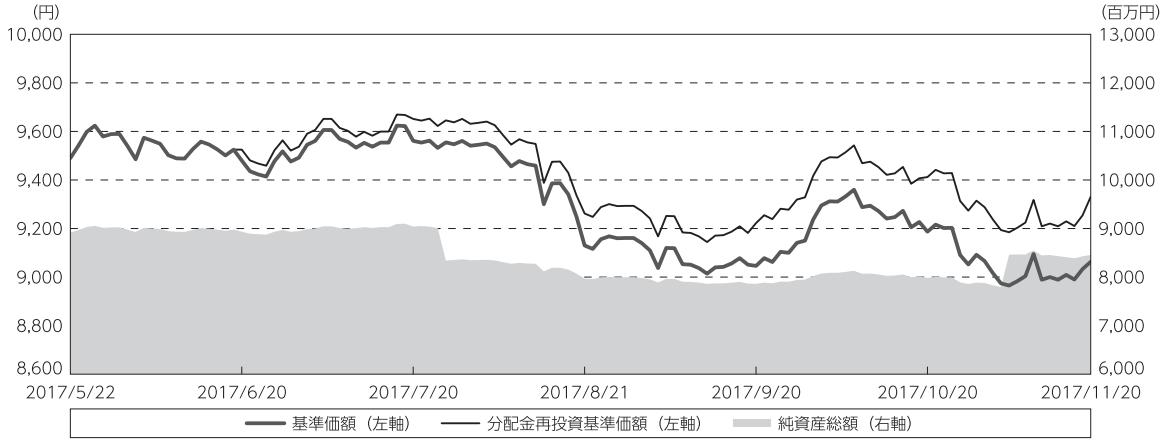
決算期	年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
			騰落率	
	（期　首）	円	%	%
	2017年５月22日	9,490	－	93.8
第５期	５月末	9,540	0.5	94.4
	（期　末）			
	2017年６月20日	9,525	0.4	94.1
	（期　首）			
	2017年６月20日	9,480	－	94.1
第６期	６月末	9,545	0.7	94.3
	（期　末）			
	2017年７月20日	9,606	1.3	94.8
	（期　首）			
	2017年７月20日	9,561	－	94.8
第７期	７月末	9,541	△0.2	92.8
	（期　末）			
	2017年８月21日	9,175	△4.0	92.7
	（期　首）			
	2017年８月21日	9,130	－	92.7
第８期	８月末	9,110	△0.2	95.6
	（期　末）			
	2017年９月20日	9,091	△0.4	95.9
	（期　首）			
	2017年９月20日	9,046	－	95.9
第９期	９月末	9,237	2.1	94.3
	（期　末）			
	2017年10月20日	9,232	2.1	94.2
	（期　首）			
	2017年10月20日	9,187	－	94.2
第10期	10月末	9,066	△1.3	94.3
	（期　末）			
	2017年11月20日	9,108	△0.9	93.9

（注）期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2017年５月23日～2017年11月20日）

作成期間中の基準価額等の推移



第５期首：９,490円
第10期末：９,063円（既払分配金（税込み）：270円）
騰　落　率：△ 1.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年５月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。

＜値下がり要因＞
・ＢＤＣ市場が下落したこと。

投資環境

（ＢＤＣ市況）

ＢＤＣ市場は下落しました。マクロ面で目立ったマイナス材料が生じなかったなか、米国大型株式はテクノロジー銘柄主導で上昇しましたが、対照的にＢＤＣ市場は冴えない値動きとなりました。グロース株選好の動きが強まり、ＢＤＣのような高配当期待で買われる資産への投資意欲が低下しました。加えて、一部のＢＤＣが2017年４－６月期の決算発表に合わせて減配を発表したことから、ＢＤＣ市場は2017年８月に大きく下落しました。９月には反発し８月の下げを幾分取り戻したものの、10月は７－９月期の決算発表への警戒感から調整しました。11月には決算発表で大型銘柄の減配が見られなかったことが安心感を誘い、期間末にかけてＢＤＣ市場は下げ幅を縮小しました。当期間は、優良銘柄と不振銘柄のパフォーマンス格差が大きくなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

（ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

個別ＢＤＣの経営および資産の質、配当の持続性に着目し、ファンダメンタルズ分析・評価に基づき、アクティブにポートフォリオを運営しました。相対的に質が低く、流動性に乏しい小規模ＢＤＣの一部はすべて売却し、組入銘柄を絞り込みました。また、先行きの見通しについての確信度合の低い銘柄の組入比率を引き下げ、より大型の優良銘柄に重点を置いたポートフォリオ構成としました。キャッシュ代替資産として保有するバンクローンＥＴＦの組入比率を引き下げ、ＢＤＣの組入比率を引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第５期	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期
	2017年５月23日～2017年６月20日	2017年６月21日～2017年７月20日	2017年７月21日～2017年８月21日	2017年８月22日～2017年９月20日	2017年９月21日～2017年10月20日	2017年10月21日～2017年11月20日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
（対基準価額比率）	0.472％	0.468％	0.490％	0.495％	0.487％	0.494％
当期の収益	45	24	3	45	35	－
当期の収益以外	－	20	41	－	9	45
翌期繰越分配対象額	125	104	63	124	115	71

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なう方針です。

（ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

事実上の完全雇用を達成するなど、米国経済は健全な状態を保っています。2017年７－９月期の米国の実質ＧＤＰ（国内総生産）成長率は３％と好調でした。サービスセクターの好調と雇用指標により、景気に対する楽観的な見方が強まっています。米国のミドルマーケット（中堅企業）では、引き続きＳ＆Ｐ構成企業を上回るペースで収益が拡大しています。マクロ景気・企業景況感双方の改善を受けて貸出スプレッドの低下圧力が高まっていますが、当ファンドでは大半のＢＤＣは配当を維持するとみています。

ファンダメンタルズ分析に基づき、長期的に高いパフォーマンスを挙げると期待されるＢＤＣに投資していく方針です。市場で短期的な歪みが生じ、銘柄の評価が妥当な水準から著しく乖離するような機会があれば積極的に利用し、投資パフォーマンスの一段の向上をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2017年５月23日～2017年11月20日）

項目	第５期～第10期 金額	第５期～第10期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	93	0.996	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(53)	(0.565)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.404)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.020	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.020)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.034	(d)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(2)	(0.023)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	98	1.050	
作成期間の平均基準価額は、9,339円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年５月23日～2017年11月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第５期～第10期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ハイインカムＢＤＣマザーファンド	1,137,757	1,090,925	1,519,111	1,471,323

○利害関係人との取引状況等

（2017年５月23日～2017年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2017年５月23日～2017年11月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2017年５月23日～2017年11月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2017年11月20日現在）

親投資信託残高

銘柄	第４期末	第10期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ハイインカムＢＤＣマザーファンド	8,922,402	8,541,048	8,250,652

（注）親投資信託の2017年11月20日現在の受益権総口数は、49,800,773千口です。

○投資信託財産の構成

（2017年11月20日現在）

項　　目	第10期末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
ハイインカムＢＤＣマザーファンド	8,250,652	96.8
コール・ローン等、その他	274,925	3.2
投資信託財産総額	8,525,577	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）ハイインカムＢＤＣマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（47,888,040千円）の投資信託財産総額（48,403,982千円）に対する比率は98.9%です。
（注）外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=112.19円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第５期末	第６期末	第７期末	第８期末	第９期末	第10期末
	2017年６月20日現在	2017年７月20日現在	2017年８月21日現在	2017年９月20日現在	2017年10月20日現在	2017年11月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	**17,564,422,813**	**17,973,739,739**	**15,934,931,769**	**15,931,271,956**	**16,024,854,160**	**16,661,395,285**
コール・ローン等	290,909,202	300,051,796	175,366,748	166,894,284	159,796,502	177,196,087
ハイインカムＢＤＣマザーファンド(評価額)	8,745,043,503	8,824,780,168	7,641,962,558	7,880,601,995	7,913,166,628	8,250,652,718
未収入金	8,528,470,108	8,848,907,775	8,117,602,463	7,883,775,677	7,951,891,030	8,233,546,480
(B) 負債	**8,630,183,668**	**8,933,071,469**	**7,966,394,674**	**8,070,617,104**	**8,045,517,930**	**8,205,210,223**
未払金	8,572,052,160	8,873,959,067	7,910,244,160	8,002,763,222	7,990,536,010	8,146,351,500
未払収益分配金	42,409,050	42,552,427	39,274,609	39,102,819	39,086,427	41,985,012
未払解約金	－	－	－	13,295,328	－	－
未払信託報酬	14,257,397	14,755,377	14,733,877	13,019,744	13,157,621	13,817,338
未払利息	467	461	215	278	193	220
その他未払費用	1,464,594	1,804,137	2,141,813	2,435,713	2,737,679	3,056,153
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**8,934,239,145**	**9,040,668,270**	**7,968,537,095**	**7,860,654,852**	**7,979,336,230**	**8,456,185,062**
元本	9,424,233,341	9,456,095,082	8,727,690,938	8,689,515,430	8,685,872,854	9,330,002,677
次期繰越損益金	△ 489,994,196	△ 415,426,812	△ 759,153,843	△ 828,860,578	△ 706,536,624	△ 873,817,615
(D) 受益権総口数	**9,424,233,341口**	**9,456,095,082口**	**8,727,690,938口**	**8,689,515,430口**	**8,685,872,854口**	**9,330,002,677口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**9,480円**	**9,561円**	**9,130円**	**9,046円**	**9,187円**	**9,063円**

（注）当ファンドの第５期首元本額は9,396,535,366円、第５～10期中追加設定元本額は884,778,251円、第５～10期中一部解約元本額は951,310,940円です。
（注）１口当たり純資産額は、第５期0.9480円、第６期0.9561円、第７期0.9130円、第８期0.9046円、第９期0.9187円、第10期0.9063円です。
（注）2017年11月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は873,817,615円です。

○損益の状況

項　　目	第５期 2017年５月23日～ 2017年６月20日	第６期 2017年６月21日～ 2017年７月20日	第７期 2017年７月21日～ 2017年８月21日	第８期 2017年８月22日～ 2017年９月20日	第９期 2017年９月21日～ 2017年10月20日	第10期 2017年10月21日～ 2017年11月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 12,750	△ 10,956	△ 10,116	△ 7,782	△ 4,943	△ 6,230
受取利息	－	271	192	－	127	－
支払利息	△ 12,750	△ 11,227	△ 10,308	△ 7,782	△ 5,070	△ 6,230
(B) 有価証券売買損益	47,367,739	133,565,758	△321,314,870	△ 20,564,416	174,548,049	△ 42,810,005
売買益	74,222,539	216,820,037	178,006,768	323,213,389	270,907,628	51,916,577
売買損	△ 26,854,800	△ 83,254,279	△499,321,638	△343,777,805	△ 96,359,579	△ 94,726,582
(C) 信託報酬等	△ 14,621,962	△ 15,132,673	△ 15,110,625	△ 13,352,658	△ 13,494,061	△ 14,170,651
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	32,733,027	118,422,129	△336,435,611	△ 33,924,856	161,049,045	△ 56,986,886
(E) 前期繰越損益金	△446,845,018	△455,889,575	△349,262,248	△721,602,208	△794,030,906	△663,122,690
(F) 追加信託差損益金	△ 33,473,155	△ 35,406,939	△ 34,181,375	△ 34,230,695	△ 34,468,336	△111,723,027
(配当等相当額)	(35,389,658)	(36,087,513)	(33,580,650)	(33,467,236)	(33,480,418)	(41,816,850)
(売買損益相当額)	(△ 68,862,813)	(△ 71,494,452)	(△ 67,762,025)	(△ 67,697,931)	(△ 67,948,754)	(△153,539,877)
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	△447,585,146	△372,874,385	△719,879,234	△789,757,759	△667,450,197	△831,832,603
(H) 収益分配金	△ 42,409,050	△ 42,552,427	△ 39,274,609	△ 39,102,819	△ 39,086,427	△ 41,985,012
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	△489,994,196	△415,426,812	△759,153,843	△828,860,578	△706,536,624	△873,817,615
追加信託差損益金	△ 33,473,155	△ 35,406,939	△ 34,181,375	△ 34,230,695	△ 34,468,336	△111,723,027
(配当等相当額)	(35,575,154)	(36,116,760)	(33,608,320)	(33,469,370)	(33,488,722)	(42,482,821)
(売買損益相当額)	(△ 69,048,309)	(△ 71,523,699)	(△ 67,789,695)	(△ 67,700,065)	(△ 67,957,058)	(△154,205,848)
分配準備積立金	82,307,223	62,960,170	21,577,201	74,957,919	66,826,941	23,952,428
繰越損益金	△538,828,264	△442,980,043	△746,549,669	△869,587,802	△738,895,229	△786,047,016

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2017年５月23日～2017年11月20日の期間に当ファンドが負担した費用は29,906,649円です。
(注) 分配金の計算過程（2017年５月23日～2017年11月20日）は以下の通りです。

項　　目	2017年５月23日～ 2017年６月20日	2017年６月21日～ 2017年７月20日	2017年７月21日～ 2017年８月21日	2017年８月22日～ 2017年９月20日	2017年９月21日～ 2017年10月20日	2017年10月21日～ 2017年11月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	104,500,595円	23,319,222円	2,987,439円	92,583,845円	31,011,951円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	35,575,154円	36,116,760円	33,608,320円	33,469,370円	33,488,722円	42,482,821円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	20,215,678円	82,193,375円	57,864,371円	21,476,893円	74,901,417円	65,937,440円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	160,291,427円	141,629,357円	94,460,130円	147,530,108円	139,402,090円	108,420,261円
f. 分配対象収益(１万口当たり)	170円	149円	108円	169円	160円	116円
g. 分配金	42,409,050円	42,552,427円	39,274,609円	39,102,819円	39,086,427円	41,985,012円
h. 分配金(１万口当たり)	45円	45円	45円	45円	45円	45円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第５期	第６期	第７期	第８期	第９期	第10期
１万口当たり分配金（税込み）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

○お知らせ

約款変更について

2017年５月23日から2017年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

ハイインカムＢＤＣマザーファンド

運 用 報 告 書

第１期（決算日　2017年５月22日）
（2017年２月３日～2017年５月22日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2017年２月３日から原則無期限です。
運　用　方　針	主として、ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	ＢＤＣを主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣに投資し、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ＢＤＣの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。

ＢＤＣの組入比率は、高位を維持することを基本とします。なお、一部、ＢＤＣと類似する性質を有する株式および上場投資信託証券などに投資することがあります。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638485>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2017年２月３日	10,000	－	－	19,437
１期(2017年５月22日)	9,602	△4.0	97.6	49,444

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
(設定日)	円	%	%
2017年２月３日	10,000	－	－
２月末	10,077	0.8	77.5
３月末	10,068	0.7	96.4
４月末	10,121	1.2	97.5
(期　末)			
2017年５月22日	9,602	△4.0	97.6

(注) 騰落率は設定日比です。

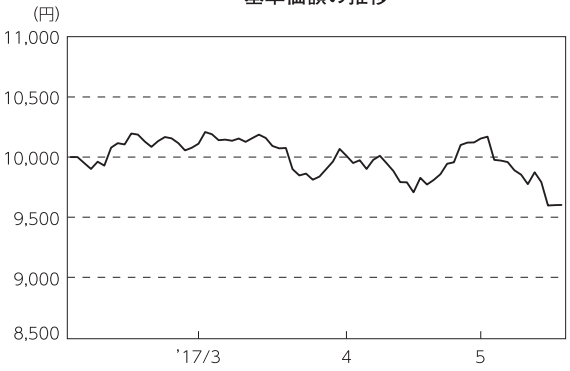
○運用経過

（2017年２月３日～2017年５月22日）

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、期間末に9,602円となり、騰落率は△4.0%となりました。

基準価額の推移



設　定　時	期中高値	期中安値	期　　末
2017/02/03	2017/03/02	2017/05/18	2017/05/22
10,000円	10,208円	9,598円	9,602円

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。

＜値下がり要因＞
・ＢＤＣ市場が下落したこと。
・円高／アメリカドル安が進行したこと。

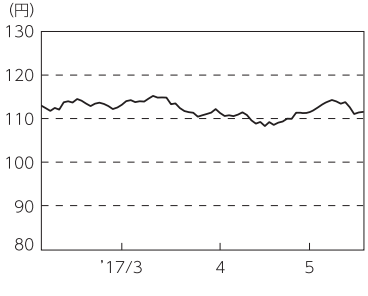
（ＢＤＣ市況）

期間の初めから2017年４月にかけては、米国景気の拡大や、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の慎重な金融政策、および米国新政権によるビジネス促進的な財政政策・規制緩和への期待を背景に、ＢＤＣ市場はほぼ一本調子の上昇を記録しましたが、５月上旬から期間末にかけて、ＢＤＣ市場は５%を超える調整となりました。2016年２月以来続く上昇相場で高値警戒感が高まるなか、５月に本格化したＢＤＣの１-３月期決算が市場予想を下回るケースが相ついだことから、リスクオフの動きが広がりました。

（為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



ポートフォリオ

適切に運用されており、正当な価格で取引されていると判断されるＢＤＣを重点的に組み入れる一方、事業の拡大や株主価値を高めることが困難と判断しているＢＤＣへの投資は抑制しました。期間の初めから2017年３月上旬にかけては、新規および追加設定が急増したことを受けて、連続的にＢＤＣへの投資を進めました。この過程において、マーケットインパクトを考慮し、一時的にキャッシュ代替資産としてバンクローンＥＴＦを多めに組み入れました。４月以降は、キャッシュおよびバンクローンＥＴＦからＢＤＣへの入れ替えを進めました。

○今後の運用方針

米国経済は引き続き良好な状態にあります。ＢＤＣが投融資の対象とするミドルマーケット（中堅企業）の業績も堅調に推移しています。米国新政権の経済・財政政策には不透明感が残存しますが、新大統領の就任以来、ビジネス寄りの施策を導入しているため、経営者および市場のセンチメントは改善しています。

リスクとして、ネット販売の拡大などにより伝統的な小売業の業績悪化が一部で深刻化していること、および貸出競争の激化によりＢＤＣの貸出スプレッドが縮小しつつある点が挙げられます。これら諸点の今後の進展、およびＢＤＣ市場への影響には十分に留意していきます。

最善の運用を実施し、高い利回りと価格上昇の可能性を提供していると判断するＢＤＣへの投資を維持・拡大する方針です。一方、与信姿勢に一貫性を欠き、株主価値の向上のために必要とされる行動をとらないＢＤＣへの投資は抑制的、または組入れを避ける方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2017年２月３日～2017年５月22日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	9	0.088	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(9)	(0.088)	
(b) 有価証券取引税	0	0.000	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	0	0.001	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	9	0.089	
期中の平均基準価額は、10,088円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年２月３日～2017年５月22日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千アメリカドル	口	千アメリカドル
	POWERSHARES SENIOR LOAN-ETF	3,674,790	85,691	1,783,913	41,463
	ALCENTRA CAPITAL CORP -BDC	212,796	2,848	－	－
	AMERICAN CAPITAL SENIOR FLOA -BDC	128,351	1,694	－	－
	APOLLO INVESTMENT CORP -BDC	3,503,618	22,388	－	－
	ARES CAPITAL CORP -BDC	5,037,167	88,462	－	－
	BLACKROCK CAPITAL INVESTMENT-BDC	889,194	6,788	－	－
	CAPITALA FINANCE CORP -BDC	153,178	2,185	35,839	485
	FIDUS INVESTMENT CORP -BDC	373,229	6,345	－	－
	FIFTH STREET FINANCE CORP -BDC	2,930,382	13,567	－	－
	FIFTH STREET SENIOR FLOATING -BDC	695,120	6,312	－	－
	FS INVESTMENT CORP -BDC	3,052,244	31,216	－	－
	GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	358,889	8,884	26,822	615
	GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	881,613	17,146	－	－
	HERCULES CAPITAL INC-BDC	1,577,902	23,568	－	－
	MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	832,063	31,149	－	－
	MEDLEY CAPITAL CORP -BDC	765,877	5,870	90,388	584
	MONROE CAPITAL CORP -BDC	288,343	4,538	－	－
	NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	1,390,490	20,517	－	－
	OFS CAPITAL CORP -BDC	193,419	2,802	－	－
	PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	396,843	5,437	－	－
	PENNANTPARK INVESTMENT CORP -BDC	542,705	4,590	－	－
	PROSPECT CAPITAL CORP -BDC	4,341,547	40,158	241,950	2,145
	SOLAR CAPITAL LTD -BDC	454,936	10,056	－	－
	SOLAR SENIOR CAPITAL LTD -BDC	205,290	3,602	－	－
	STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC	304,809	4,281	－	－
	TCP CAPITAL CORP -BDC	728,979	12,439	－	－
	THL CREDIT INC -BDC	231,648	2,398	9,853	97
	TICC CAPITAL CORP -BDC	482,305	3,726	115,103	828
	TPG SPECIALTY LENDING INC -BDC	841,300	16,425	－	－
	TRIANGLE CAPITAL CORP -BDC	812,051	15,534	－	－
	小計	36,281,078	500,631	2,303,868	46,219

（注）金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

（2017年２月３日～2017年５月22日）

利害関係人との取引状況

区　　分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	341	341	100.0	341	341	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2017年２月３日～2017年５月22日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

（2017年５月22日現在）

外国投資信託証券

銘柄	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）	口	千アメリカドル	千円	%
POWERSHARES SENIOR LOAN-ETF	1,890,877	43,906	4,897,293	9.9
FS INVESTMENT CORP -BDC	3,052,244	27,470	3,064,025	6.2
GOLDMAN SACHS BDC INC -BDC	332,067	7,454	831,520	1.7
HERCULES CAPITAL INC-BDC	1,577,902	20,922	2,333,749	4.7
MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	832,063	31,759	3,542,493	7.2
MEDLEY CAPITAL CORP -BDC	675,489	4,174	465,626	0.9
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	1,390,490	20,092	2,241,126	4.5
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C -BDC	304,809	4,285	478,017	1.0
TPG SPECIALTY LENDING INC -BDC	841,300	17,246	1,923,691	3.9
TRIANGLE CAPITAL CORP -BDC	812,051	14,787	1,649,392	3.3
ALCENTRA CAPITAL CORP -BDC	212,796	2,862	319,239	0.6
AMERICAN CAPITAL SENIOR FLOA -BDC	128,351	1,732	193,269	0.4
APOLLO INVESTMENT CORP -BDC	3,503,618	21,932	2,446,367	4.9
ARES CAPITAL CORP -BDC	5,037,167	83,012	9,259,215	18.7
BLACKROCK CAPITAL INVESTMENT-BDC	889,194	6,731	750,797	1.5
CAPITALA FINANCE CORP -BDC	117,339	1,596	178,127	0.4
FIDUS INVESTMENT CORP -BDC	373,229	6,273	699,799	1.4
FIFTH STREET FINANCE CORP -BDC	2,930,382	12,395	1,382,595	2.8
FIFTH STREET SENIOR FLOATING -BDC	695,120	5,359	597,784	1.2
GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	881,613	17,861	1,992,269	4.0
MONROE CAPITAL CORP -BDC	288,343	4,483	500,115	1.0
OFS CAPITAL CORP -BDC	193,419	2,733	304,839	0.6
PENNANTPARK FLOATING RATE CA -BDC	396,843	5,555	619,694	1.3
PENNANTPARK INVESTMENT CORP -BDC	542,705	4,129	460,658	0.9
PROSPECT CAPITAL CORP -BDC	4,099,597	33,616	3,749,606	7.6
SOLAR CAPITAL LTD -BDC	454,936	9,781	1,090,986	2.2
SOLAR SENIOR CAPITAL LTD -BDC	205,290	3,524	393,159	0.8
TCP CAPITAL CORP -BDC	728,979	12,232	1,364,387	2.8
THL CREDIT INC -BDC	221,795	2,140	238,731	0.5
TICC CAPITAL CORP -BDC	367,202	2,603	290,390	0.6
合計 口数・金額	33,977,210	432,660	48,258,971	
合計 銘柄数＜比率＞	30	－	＜97.6%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

（2017年５月22日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,897,293	9.8
投資証券	43,361,678	86.7
コール・ローン等、その他	1,755,770	3.5
投資信託財産総額	50,014,741	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
（注）当期末における外貨建純資産（49,113,737千円）の投資信託財産総額（50,014,741千円）に対する比率は98.2％です。
（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=111.54円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 （2017年５月22日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	**50,213,308,367**
コール・ローン等	1,559,351,999
投資信託受益証券(評価額)	4,897,293,525
投資証券(評価額)	43,361,678,091
未収入金	310,394,904
未収配当金	84,589,848
(B) 負債	**768,746,652**
未払金	537,915,469
未払解約金	230,830,493
未払利息	690
(C) 純資産総額(A－B)	**49,444,561,715**
元本	51,492,794,991
次期繰越損益金	△ 2,048,233,276
(D) 受益権総口数	**51,492,794,991口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**9,602円**

（注）当ファンドの設定時元本額は19,437,019,966円、期中追加設定元本額は34,299,204,395円、期中一部解約元本額は2,243,429,370円です。
（注）2017年５月22日現在の元本の内訳は以下の通りです。
・新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型） 30,734,215,663円
・新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・毎月分配型） 8,922,402,919円
・新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・年2回決算型） 8,226,830,472円
・新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジあり・年2回決算型） 3,609,345,937円
（注）１口当たり純資産額は0.9602円です。
（注）2017年５月22日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は2,048,233,276円です。

○損益の状況 （2017年２月３日～2017年５月22日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	**772,726,145**
受取配当金	772,887,609
受取利息	286
支払利息	△ 161,750
(B) 有価証券売買損益	**△3,118,717,709**
売買益	260,109,826
売買損	△3,378,827,535
(C) 保管費用等	**△ 605,755**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△2,346,597,319**
(E) 追加信託差損益金	**272,800,954**
(F) 解約差損益金	**25,563,089**
(G) 計(D＋E＋F)	**△2,048,233,276**
次期繰越損益金(G)	**△2,048,233,276**

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2017年２月３日から2017年５月22日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。